

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和6年6月3日(2024.6.3)

【公開番号】特開2023-143664(P2023-143664A)

【公開日】令和5年10月6日(2023.10.6)

【年通号数】公開公報(特許)2023-189

【出願番号】特願2022-187597(P2022-187597)

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/00(2006.01)

10

F 2 4 F 13/24(2006.01)

F 0 4 D 29/66(2006.01)

F 0 4 D 29/44(2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/00 1 0 2 P

B 6 0 H 1/00 1 0 2 F

F 2 4 F 13/24 2 4 5

F 0 4 D 29/66 N

F 0 4 D 29/44 N

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月24日(2024.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

空調装置であって、

空調対象空間へ送風する送風空気が流れる通風路(120)を構成する空調ケース(122)と、

前記空調ケースの内側に配置され、前記送風空気から吸熱して前記送風空気を冷却する空気冷却器(16)と、

前記空調ケースの内側のうち前記空気冷却器の空気流れ下流側に配置され、前記空気冷却器を通過する気流を発生させる送風ファン(18)と、

前記通風路の外側に設けられたレゾネータ(50)と、を備え、

前記レゾネータは、所定の容積を有する空洞部(52)および前記空洞部と前記通風路とを連通させて吸音機構を構成する連通部(54)を含んでおり、

前記空洞部は、前記空洞部の内部空間を複数の閉空間に分割する仕切部材(56、56A、56B)が設けられるとともに、複数の前記閉空間それぞれが前記連通部を介して前記通風路における前記送風ファンの空気流れ下流側に連通し、前記連通部を介して前記通風路における前記送風ファンの空気流れ上流側に連通しない構造になっている、空調装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

空調装置であって、

40

50

空調対象空間へ送風する送風空気が流れる通風路（120）を構成する空調ケース（12）と、

前記空調ケースの内側に配置され、前記通風路を通過する気流を発生させる送風ファン（18）と、

前記通風路の外側に設けられたレゾネータ（50）と、を備え、

前記レゾネータは、所定の容積を有する空洞部（52）および前記空洞部と前記通風路のうち少なくとも前記送風ファンの空気流れ下流側とを連通させて吸音機構を構成する連通部（54）を含んでおり、

前記空洞部は、前記空洞部の内部空間を複数の閉空間に分割する仕切部材（56、56A、56B）が設けられるとともに、複数の前記閉空間それぞれが前記連通部を介して前記通風路における前記送風ファンの空気流れ下流側に連通し、前記連通部を介して前記通風路における前記送風ファンの空気流れ上流側に連通しない構造になっている、空調装置。
10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の発明は、

空調装置であって、

空調対象空間へ送風する送風空気が流れる通風路（120）を構成する空調ケース（12）と、

空調ケースの内側に配置され、送風空気から吸熱して送風空気を冷却する空気冷却器（16）と、

空調ケースの内側のうち空気冷却器の空気流れ下流側に配置され、空気冷却器を通過する気流を発生させる送風ファン（18）と、

通風路の外側に設けられたレゾネータ（50）と、を備え、

レゾネータは、所定の容積を有する空洞部（52）および空洞部と通風路とを連通させて吸音機構を構成する連通部（54）を含んでおり、

空洞部は、空洞部の内部空間を複数の閉空間に分割する仕切部材（56、56A、56B）が設けられるとともに、複数の閉空間それぞれが連通部を介して通風路における送風ファンの空気流れ下流側に連通し、連通部を介して通風路における送風ファンの空気流れ上流側に連通しない構造になっている。
30

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2に記載の発明は、

空調装置であって、

空調対象空間へ送風する送風空気が流れる通風路（120）を構成する空調ケース（12）と、

空調ケースの内側に配置され、通風路を通過する気流を発生させる送風ファン（18）と、

通風路の外側に設けられたレゾネータ（50）と、を備え、

レゾネータは、所定の容積を有する空洞部（52）および空洞部と通風路のうち少なくとも送風ファンの空気流れ下流側とを連通させて吸音機構を構成する連通部（54）を含んでおり、

10

20

30

40

50

空洞部は、空洞部の内部空間を複数の閉空間に分割する仕切部材（56、56A、56B）が設けられるとともに、複数の閉空間それぞれが連通部を介して通風路における送風ファンの空気流れ下流側に連通し、連通部を介して通風路における送風ファンの空気流れ上流側に連通しない構造になっている。

10

20

30

40

50